



2022年4月1日発行
(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可
発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739
熊本市中央区段山本町4-1
Tel 096-353-6397(代)



い の う え と ら い
専修学校熊本YMCA学院 健康スポーツ科 2021年度卒業生 井上 智羅 さん

悔しさをばねに熊本YMCA学院に入学

「海外でラグビーについて学べます」。曾祖父から続くラグビー一家。高校時代には熊本西高校のラグビー部に所属し、花園に出場した井上智羅さん(21歳)は、この春にYMCA学院の健康スポーツ科を卒業したばかり。4月から語学留学して、その後、ニュージーランドに向かうことが決まっています。

高校卒業後に愛知県の企業に就職した井上さん。「大学から推薦入学の誘いもありましたが、当時、怪我が続いていて大学でラグビーをしていくのは難しかったんです。選手を引退することも考えました」。大きな挫折を経験したものの、井上さんのラグビー愛は冷めず、愛知県のラグビーリーグのクラブチームに所属。最初は選手だった井上さんは、ほどなくして監督代理を任されるようになりました。すると弱小だったチームがBリーグの決勝に進出。しかし、あと一步のところまで優勝を逃します。「代理とはいえ、監督は自分。悔しい思いをして、このままではいけないと思いました。しかし今の自分には資格も知識もない」。指導者としての学びを深めたいと仕事を退職し、熊本に戻って進学したのがYMCA学院健康スポーツ科です。健康スポーツ科は、スポーツトレーナーの国際的資格であるNSCAの熊本県内唯一の認定校であり、トレーナーやインストラクターなど、スポーツ界のプロフェッショナルを養成する学科。井上さんは「ラグビーだけでなく、多くのスポーツにふれたことも勉強になりましたね。スポーツに直接かかわってきた先生たちに教えてもらえたことが一番の刺激になりました」と振り返ります。

目標に向かってトライし続ける

探求心が自分を動かす

井上さんにラグビーの魅力を尋ねてみました。「ほとんどのチームスポーツって、ポジションによって注目度が違って、全員が輝けるとは限らないですよね。でもラグビーは全員が主役になれるスポーツ。大きくて力の強い選手もいれば、小さくてパスを回すのが上手い選手もいる。全員が揃って成り立つところがラグビーの魅力です」。ニュージーランドではラグビーチームのヘッドコーチの家にホームステイしながら、指導者としてどう選手と関わっていくのかなどを学んでいく予定。「冬になると世界のトップコーチが集まって、一緒に学ぶ機会もあるんです」と井上さんは目を輝かせます。



社会人から専門学校入学、海外へと進む井上さんの行動力はどこから来るのでしょうか。「子どもの頃から探求心が強くて、興味を持ったら突き詰めたいんです。昨夜は宇宙のビッグバンのことを考えたら眠れなくなってしまった」と笑います。留学を決めたのもその探求心から。「ニュージーランドの選手って、週に3回しか練習しないんですよ。それなのになぜあんなに強いのか。何を調べてもわからない。それなら自分が指導する立場になってみたら分かるんじゃないかと思ったんです」。

皆が楽しめる平和な世界を

将来の夢を聞いてみると「今は夢はつくっていません」と井上さん。「子どもの頃は“仮面ライダーになるのが夢”と言っていたんですけど、今は、夢は叶わないことの方が多いと思っています。だから、夢ではなくて“目標”があるんです」と語ります。井上さんの現在の目標の一つは「ラグビーのトップチームのコーチになること」。そして、もう一つは、「各国の文化を全世界に発信していくこと」だと言います。「以前から、周りの人が“〇〇という国はダメだ、〇〇国の人には危ない」と差別するのを見て、どうしてそう考えるんだろうと思っていました。私は、そんな風に考えたくない」。世界中で差別や紛争が続く中でも、それぞれの国の歴史や文化を知ること、多文化共生ができるのではないかと考える井上さん。「だから、海外でも仕事ができる力を付けて、一つひとつの国のことを学びたいし、それを他の人にも伝えていきたい」。そのために、WebやSNSの活用についても学んでいると言います。「皆がそれぞれの違いを認め合えば仲良くなれる。仲が良ければ、皆が楽しく平和に生きていけるんじゃないか。そんな世界をつくっていききたいんです。そう思うのはYMCAで災害支援活動や国際協力にふれることができたから」。

「何事にも躊躇せずにチャレンジしてほしい」と付けられた「TRY」の名前の通り、自分の目標に向けて一つひとつ挑戦していく井上さん。その目はニュージーランドを超えて世界の人々に注がれています。

Pickup

新たな旅立ち
熊本YMCA学院卒業式



おめでとう!
黒川保育園卒園式

「新幹線だ!」
会員交流会
YMCA本館屋上で
撮り鉄気分



I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

4月23日 Saturday~

熊本YMCA学院 (文部科学大臣認定職業実践専門課程) オープンキャンパス

3 4 8 11

専門学校
×
体験

毎年、就職率100%の専門学校、YMCA学院。各学科の魅力にふれることができるオープンキャンパスが4月からスタートします。

学科	目指せる職業・資格など
一級・二級建築士をめざす 建築科	建築設計士・建築施工管理技士 インテリアデザイナー・住宅設計
東京YMCA国際ホテル専門学校連携 ホテル観光科	ホテル・観光・旅行 プライダルコーディネーター・事務・販売
日本医師会認定医療秘書養成校申請中 医療秘書科	医療秘書・医師事務作業補助・医療事務
スポーツ指導現場との連携 健康スポーツ科	スポーツインストラクター・健康運動実践指導者 フィットネストレーナー・介護予防運動指導者
指定保育士養成施設申請中 こども保育科	保育士・幼稚園教諭・保育教諭

4月~6月スケジュール 4月23日(土)、5月14日(土)、5月28日(土)、6月4日(土)、6月18日(土) ④体験授業・在校生との交流など

④YMCA学院 Tel 096-353-6393



お申込み・7月以降の
日程・各学科の
詳細はWebで



最新情報は
インスタで



4月11日~30日

英会話と世界のことば 体験レッスン

4 10 16 17

春
×
挑戦

英会話、シニア英会話、TOEIC講座のほか、中国、韓国、ドイツ、スペイン、フランスの各国語にふれることができる「YMCA英会話と世界のことば」。無料体験レッスンを受付中です。

④4月11日(月)~30日(土)
④YMCA本館(中央区段山本町)
みなみセンター(南区田迎)
むさしセンター(合志市)

④Tel 096-353-6391

④Webまたはお電話で



おすすめクラス

“100%アウトプット” 高校生のための英会話

- ①ミニスピーチやディスカッション、プレゼンテーションなどを通して大学入試で求められる「英語のコミュニケーション力」を培う
- ②国内外で実施されるYMCAの国際プログラムに参加するチャンスも
- ③通常クラス参加費9,550円の半額を免除

④YMCA本館

Let's study together!

4面も見てね



ウクライナ緊急支援募金 ご協力をお願い

募金期間

4月30日まで

ウクライナYMCAでは、ロシアによる侵攻直後から、爆撃地から逃れる人々のための宿泊・食料・衣料品・衛生用品の提供を行っています。今後は子どもや若者の心理的・社会的支援を予定しています。ウクライナ近隣諸国のYMCAでは連携を取り、24時間体制で避難民の受け入れや生活支援を実施しています。一人ひとりの命が大切に守られるよう、ご協力をお願いいたします。

募金の使途

- ①ウクライナYMCAが行う、爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内避難する人々への支援活動
- ②ウクライナ近隣諸国のYMCAが行う、国外に避難するウクライナの人々への緊急生活支援

募金方法

- 最寄りのYMCAにお持ちください
- Webサイトからクレジットカード決済が可能です



④日時 ④会場 ④内容 ④参加費 ④定員 ④参加条件 ④持ち物 ④対象 ④主催 ④締切 ④申込 ④問合せ ④その他

COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ vol.6

総主事 光永 尚生



「熊本YMCAの使命から考える」 ～みんなのものがひとつとなるための 平和への祈り～

熊本YMCAは、4法人で運営がなされています。それぞれに定款や寄付行為を持ち、公益性のある法人運営が進められています。その中で、「公益財団法人熊本YMCA」の定款について考えてみました。第2章目的及び事業という項

目には、(目的)「この法人は、熊本バンドの精神を受け継ぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年をはじめとするすべての人々の精神、知性、身体の調和のとれた全人的成長を図る事業を行い、もって地域社会の発展及び福祉社会の実現並びに世界の平和に寄与することを目的とする。」と謳ってあります。熊本YMCAのすべての事業は、まさにこの目的の実現のために行っています。また、公益性のある働きを進めると同時に、会員活動としても歩んでいるのです。

前出の「世界の平和に寄与する」働きを考える時に、ウクライナでの戦禍は、私たちの未来を変える出来事になるのではないかと思います。ウクライナYMCA、ヨーロッパYMCA、世界

YMCA同盟からは、連帯の証である様々なメッセージが日本のYMCAに届けられています。一方で、ロシアやルーマニア、スロベニアなど東ヨーロッパの隣国にも、YMCAに連なる活動が行われています。その国々からも平和への連帯のためのメッセージが届けられています。

私たちは、これまで東エルサレムYMCAとガザYMCAでも連帯を唱え、「オリーブの木の植樹」など平和につながる活動も続けてきました。今こそ、すべての人々がひとつとなるための働きを覚え、世界の平和に寄与できるYMCAのつながりと関わりを模索していく時ではないでしょうか。「みんなのものがひとつとなるために」、皆様の祈りの中に平和への想いを覚えていただければ幸いです。

R | E | P | O | R | T

[2月22日⇒ 3月21日]

防災

救荒植物を学ぶ 食べられる花で花壇づくり

11 15

2月22日(火)、第38回全国緑化くまもとフェアの一環として、みなみセンターのぶどうの木幼児園で、食べられる花を使った花壇づくりを行いました。「防災に役立つ救荒植物～緑化フェアから考えるSDGsと食育～」がテーマで大東建託株式会社熊本北支店の協力によるもの。救荒植物とは食料が不足した時に、食料(救荒食)として利用される植物のこと。本行事は普段から食べられる花を身近に栽培することで、災害時に役立てようという狙いがあります。熊本大学薬学部教授で、YMCA尾ヶ石保育

園の“森の保育園”プロジェクトに協力している渡邊高志さんから、バンビ(年長)クラスの子どもたちにむけて食べられる植物などについて説明がなされ、「ヨメナ」の苗をプランターに植え付けました。バンビクラスの真剣な様子に、年少、年中クラスの子どもたちも「がんばれー」と声援を送りました。

最後にホーリーバジルとカモミールのお茶を試飲。ごくごく飲み干す園児もいれば、慣れない味に戸惑う園児も。植物についてたくさん学び、楽しい時間を過ごしました。 職員 木村成寿



大自然

阿蘇で学ぶ SDGsフェスティバル

11 12 13 14 15 17

2月27日(日)、YMCA阿蘇キャンプで「SDGsフェスティバル」を開催。自然の中で木や水のことを中心にSDGsについて学び、考える機会を設けました。

7家族22人の親子が参加。午前中はSDGsと森林について学び、その後SDGsかるた大会を開催しました。子どもチームとおとなチームに分かれ白熱した対決となり、楽しみながらSDGsの17項目について学びました。昼食は阿蘇キャンプ特製カレー。午後は二重の峠へ行き、自然の豊かさを感じ、木や森を大切にすることが地球への優しさにつながるということを改めて学びました。日ごろ私たちがあ

りまに飲んでいる水道水は熊本の豊かな自然があるからこそ飲むことができます。「森林が破壊されるとおいしい水が飲めなくなる」と聞いた子どもたちはSDGsがとても身近に感じられた様子でした。

二重の峠からの帰り道は、阿蘇の雄大な草原を守るために毎年この時期に行われている野焼きを見学。参加者からは「親子で自然の中でゆっくり過ごす時間ができ、学ぶだけでなく、心もリフレッシュできました」との声が聞かれました。

職員 藤本博人



専門学校

学びの集大成

熊本YMCA学院卒業発表

4 11 16

3月、熊本YMCA学院の建築科、ビジネス総合学科の2年生がそれぞれ2年間の学びの集大成となる卒業発表会、模擬挙式を開催。コロナの影響を受けながらも準備を進め、当日を迎えることができました。

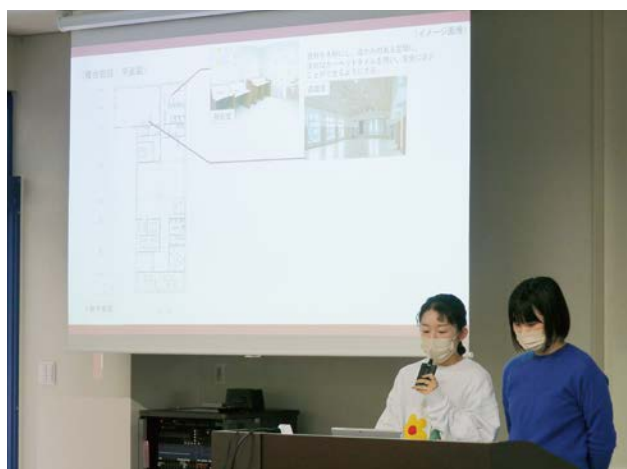
建築科 卒業制作発表会

3月4日(金)13時～15時に熊本YMCA学院建築科2年生による卒業制作発表会を開催しました。学生は2年スタート時に各ゼミ担当講師から建築・都市・構造各デザインの概要説明を聞き、コースを選択。前期は、ゼミ特論の授業で各自それぞれのテーマに基づき事前の準備(調査・研究・設計)を行いました。後期は、卒業制作の授業に加え、放課後には模型作りに励みました。

発表内容は様々な工夫を凝らしたインテリアデザイン、敷地選定から行う建築物設計、実在の街を想定しての都市計画の策定など多岐にわたりました。

都市デザインコースの竹内沙綺さんと小川陽来さんは、“The Link”の題を掲げ、新町・古町地区の街づくりについて考察。新たなランドマークの建築を想定した大規模な設計を発表しました。発表後の感想は、両名「とても達成感がありました」とのこと。卒業生のこれからの活躍を期待しています。

職員 園田進



ビジネス総合学科 模擬挙式・披露宴

ホテル業界の専門スキルや観光ビジネスを学ぶ熊本YMCA学院ビジネス総合学科の2年生が中心となり、3月21日(月・祝)、模擬挙式と披露宴を開催しました。学生がホテルスタッフ、結婚式場スタッフに扮し、式の企画や運営すべてを担います。留学生も多数いる本学科。新郎新婦役も学生が務め、今年の設定は日本で出会った台湾とウクライナ出身者の国際結婚としました。実際の結婚式場「The Style of EXCELLENT」が会場。正統派チャペルウエディングのほか、西洋ダンスパーティー形式の披露宴も行われ、緊張の中にも笑顔があふれる1日となりました。

挙式後にはウクライナの国旗の2色、青と黄色の風船約120個をリリース。風船にはウクライナの国花であるひまわりの種を同封したメッセージカードを付けました。「私たちは世界の平和をのぞみます」「いつも、どんな時も、あなたたちの事を祈っています」という学生たちの思いをのせて、大空へと飛び立っていきました。

職員 藤井千秋



2022年度

YMCAで私がんばりたいこと

YMCAに関わる皆さんに、春からYMCAでがんばりたいこと、目標を聞いてみました。



松岡 絢香さん
ながみねファミリーセンター
体操教室在籍生

講習会に参加して楽しかったから体操を始めました。バク転ができるようになりたい!



西田 球美子さん
みなみセンター
成人ウエルネス会員

レッスンに多く参加して健康的な体づくりを目指す!!



松本 泰子さん
YMCA本館
英会話クラス在籍生

英会話のレッスンに励み、今年こそ海外旅行に行つて現地の人と英語でしゃべりたい!



金 漢林さん
熊本YMCA学院日本語科留学生

熊本YMCA学院建築科へ入学したので、日本語だけでなく建築の専門的な事も調べて準備をしていきたい。



ビート・ツアフルーさん
英会話スクール講師

I will guide you climbing your Language Mountain beyond that long plateau, push yourself a bit harder and we will eventually reach the rewarding peak!

『語学の山』を登る受講生が頂上(目標)に到達できるよう導く。一緒に頑張ろう!



熊野 颯羅さん
みなみセンター
こどもえいごスクール在籍生

英検にチャレンジして、3級まで目指したい。



北原 政宗さん
ながみねファミリーセンター
ヒップホップ教室在籍生

たくさん練習して上手に踊れるようになりたい!



松本 悠汰さん
YMCA学院
こども保育科2年生

幼稚園や保育園での現場実習で、自分の課題を見つけて成長したいです。



松本 龍哉さん
益城町総合運動公園
トレーニングルーム利用者

筋肉量を増やして体脂肪を12%にしたい。特に下半身の筋トレを頑張りたい!



中城 峯雄さん
御船町スポーツセンター
プール利用者

歳だからと老け込まず、年齢に応じた体力維持に努め、感謝しながらプールを利用したい。



家入 隼平さん
黒川保育園 園児

「あ・い・う・え・お」の勉強と外遊びと、サッカーをがんばりたい!



米本 玲衣さん
水前寺幼稚園 園児

おそうじで机を運んだり、お手伝いをがんばりたい。



佐藤 優衣さん
むさしセンター
水泳教室在籍生

きれいなフォームで平泳ぎを泳げるようになって、トビウオワッペンを目指します!



YMCA NEWS 読者の声 大募集

KUMAMOTO YMCA NEWSの読者の皆さんを対象にアンケートを実施します。紙面に関するご意見・ご感想をお寄せください。

ご回答いただいた方の中から抽選で以下の記念品を進呈します。

- YMCAオリジナルノート
- 英会話と世界のこぼれ「一回完結型レッスン サブリタイム」(YMCA本館)チケット
- 成人ウエルネス(みなみセンター・ながみねセンター)体験チケット

回答はこちら ▶

締 5月10日(火)

☎ Tel 096-353-6397



わたしと聖句

ヨハネによる福音書 20章 9節

イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。

空っぽの墓の前で考える

イースターおめでとうございます。イースターの礼拝をお祝いすると、いよいよ本当の春がやってきたと、新しい季節の始まりを実感します。

カトリックの黙想集「実る人生」に次のような文を見つけました。

「外面の静けさと内面のあらしと。いった対照的な状態がよくあるものです。重要なのは、どこにいますか、ではなく、なにを考えているか、ということとです」

主イエスが復活した朝、その知らせを女性たちから聞いたペトロは走って墓を見にいきました。ペトロにとって

日本福音ルーテル広島教会
立野泰博

この出来事は、内面のあらしではなかったかと思えます。十字架の上で死なれた主イエスがそこにおられないのです。外面上は静かな時間が過ぎていきます。人々は主イエスの十字架の出来事に打ちのめされていたのですから。

ペトロは空っぽの墓をのぞいたとあります。そこには亜麻布しかありませんでした。このときペトロは何を考えていたのでしょうか。大切なことは、この出来事を前にして何を考えることができるかということです。

復活は私たちに喜びをもたらします。私たちもまた同じように復活させてくださる希望を与えてくださったのです。これが、私たちの救いの完成です。

コロナ禍で長く翻弄され、あらしが吹き荒れていました。そろそろ私たちの生活も次のステージへ新しくはじめる準備をいかねばなりません。復活は必ずある。だからこそいま何を考えるかが大切です。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)
発行人／光永 尚生 編集人／辻 健太郎
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2022年度基本聖句

イザヤ書 40章31節

主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることはなく、歩いても疲れない。